



課題であると分析する。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

本市は、平成27年実施の国勢調査において市制施行の人口要件5万人を超えたことを受け、平成28年10月10日に単独で市制施行を行った。

また、本市の歴史は、古く藩政時代（1620年）に藩祖伊達政宗公の命により、仙台藩領土の南北を結ぶ奥州街道の宿場町「富谷新町」として栄え、2020年には開宿400年の節目の年を迎えることとなる。

本市は、これまで仙台市に隣接する優位性から、新興団地の造成による人口の増加や商業施設の進出など、都市的な発展を遂げてきたが、一方では、富谷発展の原点である、富谷しんまち地区はかつての賑わいは影をひそめ、賑わいの創出や活性化が求められている。また、市制施行を機に、ベッドタウンから脱却し、富谷として新たな魅力の創造と発信が求められ、雇用関係においても、自ら起業・創業を目指す若者、女性、そしてシルバー世代等のニーズの高まりに応える支援体制の構築が求められている。

このような本市を取り巻く背景を考慮しながら、地方創生拠点整備交付金の採択を受け、旧役場庁舎の改修工事を行い、「富谷市まちづくり産業交流プラザ」の運営を進めているところである。

また、本市は市制施行が目的ではなく、市制施行をきっかけにどのような市（都市）を創造していくかが重要であることから、市制施行を絶好の機会として、シティブランドの向上などに取り組み、産業振興、地域経済の向上など、今後も持続可能な発展に向けた取り組みが求められている。

そして、本市の地方創生総合戦略人口ビジョンで掲げた、「2060年人口6万人」の達成と本市の地方創生総合戦略で掲げた将来ビジョン「住みたくなるまち日本一」の実現を目指すものである。

#### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 増加分 1年目	平成29年度 増加分 2年目	平成30年度 増加分 3年目
(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザを拠点とした起業創業の実現	0件	0件	0件	3件
しんまち地区での新規店舗開設数	0件	0件	0件	0件
(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザ来館者数	0人	0人	0人	20,000人

I T企業等誘致数 15社	0社	—	—	2社
新規雇用者数 15人	0人	—	—	2人

	令和元年度 増加分 4年目	令和2年度 増加分 5年目	KPI 増加分 の累計
(仮称) 富谷まちづくり 産業交流プラザを拠点 とした起業創業の実現	6件	10件	19件
しんまち地区での新規 店舗開設数	2件	3件	5件
(仮称) 富谷まちづくり 産業交流プラザ来館者 数	25,000人	30,000人	75,000人
I T企業等誘致数 15社	5社	8社	15社
新規雇用者数 15人	5人	8人	15人

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

富谷の歴史の原点である『富谷宿』が開宿 400 年を迎えることから、開宿記念事業を視野に入れて旧富谷町役場庁舎を整備し、チャレンジスペース、富谷市民俗ギャラリー、起業創業支援スペース（シェアオフィス等）、起業創業支援多目的スペース、貸し会議室、富谷市シルバー人材センター等として活用するもの。また、整備後の施設を活用し、I T企業等誘致、若者や女性を中心に地域に根ざして自ら起業する機運の醸成、課題解決に向けたまちづくりの主役となる団体やリーダーとなる人材の育成に向けた取組等を行う。その他、関連として富谷宿開宿 400 年を迎える令和 2 年（2020 年）に向け、記念事業及び関連事業の実施を予定するもの。

### 5-2 第 5 章の特別の措置を適用して行う事業

#### (1) 地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

##### ① 事業主体

富谷市

##### ② 事業の名称：(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザ整備事業

##### ③ 事業の内容

交付対象事業の概要は、次の基本方針のもと、それぞれの機能を備えた

複合的な拠点施設として整備を行うもの。

- ①富谷の歴史の原点である『富谷宿』が開宿 400 年を迎えることから、開宿記念事業を視野に入れて整備を進める。特に施設の外観については、歴史的な背景を考慮した、しんまち地区を象徴するシンボリックな外観とする。
- ②しんまち地区を中心とした周辺地域の活性化と市内外住民の交流のまちづくりの拠点施設として活用するとともに、まちの歴史と魅力の創造や情報を発信する施設とする。
  - ・チャレンジスペースの設置
  - ・富谷市民俗ギャラリーの設置
- ③多様な世代が集い、富谷で起業創業にチャレンジする際のサポート体制を整備した起業創業支援の拠点施設とする。また、地域の産業振興の担い手となるリーダー育成の拠点施設とする。
  - ・起業創業支援スペース（シェアオフィス、共用ミーティングコーナー）の設置
  - ・起業創業支援多目的スペースの設置（起業創業・人材育成セミナー、各種講演会開催への対応等）
  - ・貸し会議室の設置（商談等など起業家のニーズに応じたスペースの提供）
  - ・起業家支援ストックルームの設置（チャレンジスペース展示物品等一時保管スペースの提供）
- ④シルバー世代への就労支援・活躍の場を提供する施設とする。
  - ・富谷市シルバー人材センター事務所、キャリア開発支援室の設置（シルバー世代への総合的な就労支援事業の実施）
- ⑤追加設備・施設
  - ・エレベーター
  - ・障害者用トイレ（多目的トイレ）

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

今回の地方創生拠点整備交付金により整備した施設は、指定管理の下運営していく予定としており、その運営経費は、貸し会議室、起業創業支援スペース、起業創業支援多目的スペースの使用料等を見込んでいる。当初は、市からの指定管理に係る委託費の支出が必要であるが、当該委託費は段階的に減額する方向とし、管理運営法人の自立による単独運営を目標としている。

## 【官民協働】

(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザの管理運営・事業展開に当たっては、施設の管理運営を担うNPO法人、地元のくろかわ商工会、金融機関および富谷市シルバー人材センターと連携を図りながら取り組むものである。それぞれの主な取組概要は、次のとおりである。

- ①指定管理を行う法人は、指定管理の継続と自立性を向上させるため起業塾の開催など起業創業支援に関する各種事業を展開することにより具体的な成果を上げることを目指す。
- ②くろかわ商工会は、NPO法人・富谷市と連携を図りながらこれまでの創業支援の取組みの充実・強化を目指し、富谷市の起業創業支援の取組みのより一層の推進に努める。
- ③地元金融機関は、富谷市と連携を図りながら、相談会や講演会の開催などの起業創業支援事業の展開と併せ、事業者間のマッチングによる新たな事業化や販路拡大を促進し、地域の振興と活性化の寄与に努める。
- ④富谷市シルバー人材センターを高齢者の就労支援・地域貢献のための中心的な主体として位置付け、富谷市と連携を図りながら、従来の事業の枠を超えてシルバー世代キャリア開発事業や人材バンク事業等を展開し、高齢者が健康で活躍することができる社会の構築を推進する。

## 【政策間連携】

本施設が位置する『富谷宿』が2020年に開宿400年を迎える歴史的背景を活用しながら、起業創業支援事業、高齢者就労支援・地域貢献事業、新特産品等発信・交流事業、歴史文化保存発信事業などを行う複合的な拠点施設として整備し、事業間の連携を図りながら各種事業を展開することにより、互いに相乗効果を生み出しながら、交流人口の拡大や地域の振興と活性化を目指すものである。また、当施設を拠点に開催する各事業については、しんまち地区を会場に開催している、「とみやふるさとまつり」、「とみやっ子たなばたかざり」などの既存事業との連携やタイアップを積極的に進め、交流人口の拡大やにぎわいの創出など、これまで以上の効果を生み出すよう目指すものである。

### ⑤ 重要業績評価指標 (KPI) 及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
(仮称) 富谷まちづくり	0件	0件	0件	3件

産業交流プラザを拠点とした起業創業の実現				
しんまち地区での新規店舗開設数	0件	0件	0件	0件
(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザ来館者数	0人	0人	0人	20,000人

	令和元年度 (4年目)	令和2年度 (5年目)	KPI 増加分の 累計
(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザを拠点とした起業創業の実現	6件	10件	19件
しんまち地区での新規店舗開設数	2件	3件	5件
(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザ来館者数	25,000人	30,000人	75,000人

#### ⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点の KPI の達成状況を地方創生担当部署が取りまとめ、富谷市総合計画審議会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略等に反映させる。

#### ⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 460,455 千円

#### ⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から令和3年3月31日（5ヵ年間）

### (2) 地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体

富谷市

② 事業の名称：『富谷市まちづくり産業交流プラザ』を拠点とした産業創造プロジェクト

#### ③ 事業の内容

本事業は、地方創生拠点整備交付金を活用して整備した富谷市まちづ

くり産業交流プラザ（以下「プラザ」という。）を拠点として、上記の構造的な課題のうち、「特に若者や女性が地域に根ざして自ら起業する機運の醸成」、「課題解決に向けたまちづくりの主役となる団体やリーダーとなる人材の育成」について、具体的な対策を講じるものである。

具体的には、新しいコンセプトを持つ I T 企業等をプラザへ誘致し、相乗的な施策として、新たな I T 企業等の起業支援を実施し、I T 企業等による若者や女性などに対する新たな地元雇用場を創設する。併せて、I T 企業等と連携した地域課題解決に向けたアイデアでのソーシャルビジネスを創出していき、その地域課題の解決の担い手として、委託企業の誘致のノウハウや運営手法を学びながら自立した事業として継続できるようなリーダーとなる人材の育成に取り組む。また、高校、大学等の教育機関と連携した I T 企業等へのインターンシップを実施し、地域課題解決を I T 企業等と協働して検討してもらい、ソーシャルビジネスを創業する学生ベンチャー（パブリックベンチャー）のまちづくりを視野にいたれた拠点としての役割も担うものである。

副次的な効果として、誘致した I T 企業等が市民の起業者と連携することで、I T を活用したビジネスやスモールビジネス起業の実践の場となる。また、併設されるシルバー人材センターへの新たな就業の場となるセカンドキャリア（生涯現役）支援にも大学等と連携した取り組みを進めていき、I T 企業等との連携により新たなビジネスが創出されることを期待している。

そして、プラザに I T を活用した人が集まれば、地域の魅力を SNS など情報発信力が強くなり、しんまち地区にも新たな人の流れが生まれ、訪れた人に宿場町とみやを知っていただく絶好の機会となり、新たな賑わいの創出と交流人口の拡大にも繋がるものである。なお、2020 年には、宿場町「富谷」400 年祭を予定していることから、政策間連携としての面でも地域活性化の拠点施設としての役割も担うものである。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

富谷市まちづくり産業交流プラザに誘致した I T 企業等が、地域課題の解決・地域の担い手育成の主体となる、まちづくり会社への移行を目指し、自らが運営主体となることにより、交付金実施計画記載の自主財源以上の収入を見込むとともに、一定期間の間は市の一般財源による負担も視野に入れながら自立を目指すもの。

##### 【官民協働】

地方創生の推進と魅力ある地域経済の持続的な発展を目指し、IT企業等誘致やIT企業等の起業・創業支援を行う民間企業と新たなIT産業創出によるまちづくりに向けた協働を行う。そして、将来的にまちづくり会社の設立に向けた連携を行い、民間資本（パブリックベンチャー設立）によるプラザの自立運営を目指す。

### 【政策間連携】

本施設は、起業創業の拠点となる施設であるが、施設内に富谷の歴史等を紹介する富谷市民俗ギャラリーや、シルバー世代の雇用創出、キャリア開発を担う富谷市シルバー人材センターも施設内に入居する。また、宿場町として栄えた、しんまち通りに位置し、2020年の宿場町「富谷」400年祭の会場にもなることから、個々の事業の連携を図ることにより、起業創業支援、地域活性化（課題解決）、若者・女性・高齢者の活躍、交流人口と関係人口の拡大などについて、政策間の連携が可能となり、効果的な事業展開が期待できる。

### 【地域間連携】

富谷市は、宮城県のほぼ中央に位置し、また、政令指定都市仙台市に隣接していることから、この地理的優位性を十分に活かした地域間連携を図るもの。

## ⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 増加分 現時点	平成30年度 増加分 1年目	令和元年度 増加分 2年目	令和2年度 増加分 3年目
（仮称）富谷まちづくり産業交流プラザを拠点とした起業創業の実現 19件	0件	3件	6件	10件
IT企業等誘致数 15社	0社	2社	5社	8社
新規雇用者数 15人	0人	2人	5人	8人

	KPI 増加分 の累計
（仮称）富谷まちづくり産業交流プラザを拠点とした起業創業の実現 19件	19件
IT企業等誘致数 15社	15社
新規雇用者数 15人	15人

## ⑥ 評価の方法、時期及び体制

### 【検証方法】

外部組織においては、産官学金言の各分野で構成する「富谷市総合計画審議会」を活用し、総合計画のK P I 検証と合わせ、本事業の効果を数値的に分析、検証し、P D C A サイクルにより、適正に事業の見直しを行っていくもの。

議会においては、外部組織での検証結果を踏まえ、富谷市議会全員協議会への報告や本会議における決算審査等での議論を行いながら検証するもの。

### 【外部組織の参画者】

大学教授、市内農産物産直販売組織代表、市内企業代表、市外企業代表、新みやぎ農業協同組合、くろかわ商工会長、七十七銀行富谷支店長 等

### 【検証結果の公表の方法】

検証後、市ホームページ等により、広く公表するもの。

## ⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 89,198 千円

## ⑧ 事業実施期間

地域再生計画変更認定の日から令和3年3月31日（3カ年間）

## ⑨ その他必要な事項

特になし

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

特になし

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から令和3年3月31日（5カ年度）

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

#### 【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を地方創生担当部署が取りまとめる。

外部組織においては、産官学金言の各分野で構成する「富谷市総合計画審議会」を活用し、総合計画のKPI検証と合わせ、本事業の効果を数値的に分析、検証し、PDCAサイクルにより、適正に事業の見直しを行っていくもの。

議会においては、外部組織での検証結果を踏まえ、富谷市議会全員協議会への報告や本会議における決算審査等での議論を行いながら検証するもの。

#### 【外部組織の参画者】

富谷市総合計画審議会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。

### 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 増加分 1年目	平成29年度 増加分 2年目	平成30年度 増加分 3年目
(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザを拠点とした起業創業の実現	0件	0件	0件	3件
しんまち地区での新規店舗開設数	0件	0件	0件	0件
(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザ来館者数	0人	0人	0人	20,000人
IT企業等誘致数 15社	0社	—	—	2社
新規雇用者数 15人	0人	—	—	2人

	令和元年度 増加分 4年目	令和2年度 増加分 5年目	KPI 増加分 の累計
(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザを拠点とした起業創業の実現	6件	10件	19件

しんまち地区での新規 店舗開設数	2件	3件	5件
(仮称)富谷まちづくり産 業交流プラザ来館者数	25,000人	30,000人	75,000人
I T企業等誘致数 15社	5社	8社	15社
新規雇用者数 15人	5人	8人	15人

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、有識者や議会の関与を得ながら検証を行い、決算議会での報告を行う。また、検証後、市ホームページ等により、広く公表するもの。